

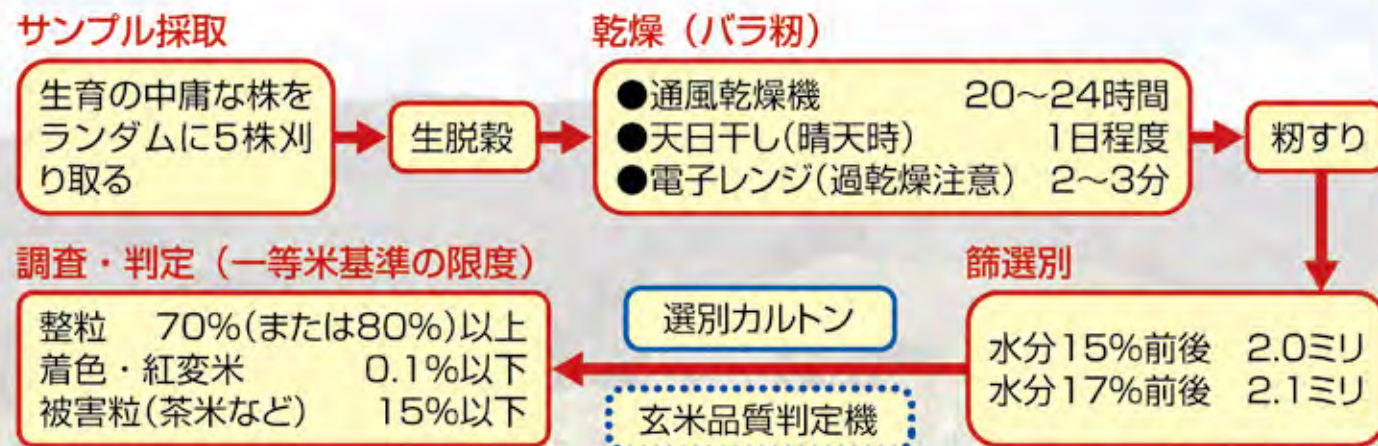
おいしさを保証するための 平成30年 適期収穫と乾燥のチェックポイント

成熟期予測とこまめな試し刈りで適期収穫を!! 必ず試し刈りをして、玄米判定を行いましょう!
溝切りなどにより、圃場の排水を優先して、圃場を乾燥させましょう!

適期収穫のチェックポイント

- ◆積算気温による成熟期の予測
出穂期以降の毎日の平均気温の積算値が950℃に達する日が成熟期の目安です。
- ◆黄化籾割合による成熟期の目安
観察による黄化籾割合が90%になった日が成熟期です。
(予測した成熟期に近づいたら調査します)

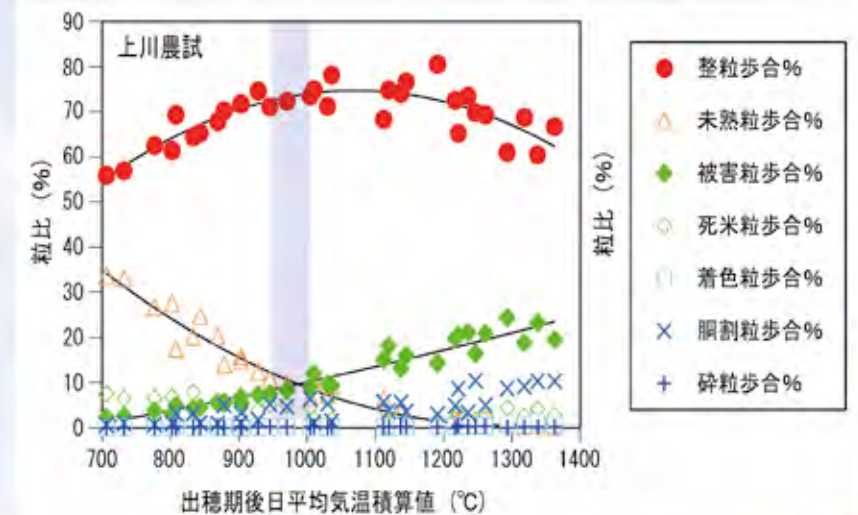
試し刈りによる収穫適期の判定手順



- JA・普及センターと相談して適期判定を行いましょう!
- 登熟ムラを想定し、試し刈りはこまめに行いましょう!
- 褐変穂・いもち病多発の稲は別刈りにしましょう!

「ゆめぴりか」の収穫適期

「ゆめぴりか」の収穫適期は950~1000℃が目安です。
(「ゆめぴりか」栽培マニュアルより)

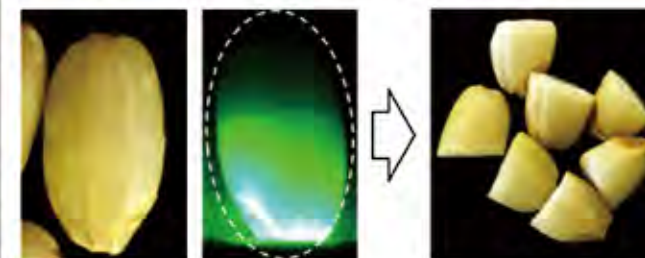


乾燥のチェックポイント

- ◆乾燥開始時は籾水分が高いため、高温乾燥を避けます。籾水分が25%以上では40℃以下で乾燥し、25%以下になってから通常の熱風温度とします。
- ◆胴割れを減らし、均一な玄米水分(14.5~15.0%)に上げるため、二段乾燥を行います。
- ◆過乾燥にならないように注意しましょう!

もち米の胴割れ粒に要注意

◆近年、もち米の胴割れ粒が増加傾向にあり、製品歩留まりを低下させています。



胴割れ粒(風の子もち)
左:肉眼
右:透視器(TX-300)

胴割れによる
碎け米

- ◆胴割れ粒は主に以下の要因で発生します。
 - ・落水後の水田土壌の乾き過ぎ(土壌表面の大きな亀裂)
 - ・刈り取りの遅れ
 - ・不適切な乾燥・調製

■対応策

- ・登熟期間の土壌水分の保持
- ・適期収穫
- ・適正な乾燥・調製